

編集後記

日本小児循環器学会が電子化されて今回が2回目の発刊となりました。4月にはニュースレター第1号も発刊することができました。我々編集委員も ScholarOne を用いた新しい形の編集作業に少しづつ慣れ、このところようやく軌道に乗ってきた感じです。さて、ここまででは単に学会誌が電子化されたというだけにすぎません。これから先は、電子ジャーナルの特徴を活かした新しい企画やさまざまな取り組みに挑戦したいと考えています。まずは動画の投稿も可能な、“Images in Pediatric and Congenital Heart disease” のコーナーを設けます。短報で impressive な画像を含む興味深い症例報告をお待ちいたしております。短報ですので、若い先生はできるだけ英語で投稿していただければと思います。そのほか「症例ディスカッション(案)」と題して、診断に至る過程や適切な治療法を読者とともに考え、discussion を進めるようなコーナーも考えています。それから、各施設で主力メンバーとして活躍されている中堅の先生には、教育的な総説の執筆を積極的にお願いしようと考えております。皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。会員の先生で新しいアイデアがございましたら、編集部まで是非お知らせください。

(白石 公)